

# ～平成28年度主要施策～

第5次総合計画、まち・ひと・しごと創生総合戦略将来像

清流木曾川に抱かれた“ひと・まち・自然” 輝く創造文化都市

## ① 町民の生命と財産を守る強いまちづくり

ハード・ソフトの両面から防災・減災事業を積極的に進め、地域と連携した防災体制の強化を図ります。

### 新規事業

#### 防災備品管理事業

**570万円**

笠松町地域防災計画に基づき、避難所生活に配慮し、簡易エアマットを整備します。また、備蓄品のアルファ米や飲料水などを更新します。

#### 県防災情報機器等管理事業

**1,167万円**

大規模災害に備え、通信回線の安定化かつ高速大容量化を進めるため、県が防災情報通信システムを更新したことに伴い、町のシステムも併せて更新整備します。

#### 自主防災組織育成事業

**112万円**

各地域の自主防災会が防災資機材を整備する事業に対し、財政支援を行い地域の防災力向上を図ります。また、子育て家庭向け防災講話を実施し、自助、共助による防災体制を目指します。

#### 防災行政無線(同報系)管理事業

**1億5,393万円**

災害時に有力な情報伝達手段となる防災行政無線屋外子局のデジタル化への更新と増設(11基⇒33基)を平成27年度から継続で実施します。(8～9ページ参照)

#### 地籍調査事業

**1,718万円**

災害復旧の迅速化に繋がる地籍調査を平成27年度から継続で実施します。



#### 排水路改良事業

**1億2,818万円**

ゲリラ豪雨などの水害対策として、平成24年度より進めている笠松町流域関連公共下水道雨水計画を継続させ、雨水貯留施設の整備を進めます。

#### 木造住宅耐震診断・ 木造住宅耐震改修助成・ 建築物耐震診断助成事業

**280万円**

木造住宅の耐震診断・改修工事の助成、その他建築物の耐震診断助成を行います。